

2024年3月18日

味の素冷凍食品（株）、海外工場を集約・強化 ～タイ豚肉事業の構造改革により採算性と資産効率を向上～

味の素冷凍食品株式会社（社長：寺本博之 本社：東京都中央区）は、タイ国におけるベタグロパブリック株式会社（社長：Vasit Taepaisitphongse 本社：タイ国バンコク市、以下 BTG 社）との豚肉加工冷凍食品の合併事業を見直し、当社およびタイ味の素冷凍食品株式会社（社長：江原司 本社：タイ国アユタヤ県、AFT 社）が保有する味の素ベタグロ・スペシャリティフーズ株式会社（社長：Vasit Taepaisitphongse 本社：タイ国ロブリ県、ABS 社）の株式の全てを、合併パートナーである BTG 社に譲渡する契約を本日締結いたしましたので、お知らせいたします。

当社は、環境変化もある中、国内豚肉加工品領域において、ブランド力や味の素グループの技術による独自価値を持つ商品への集中をさらに進め、採算性と資産効率を高めるために生産体制の再編を行うことについて検討開始しておりました。

このような中、2023年10月 BTG 社よりタイ国内中心に加工品生産工場として ABS 社を活用したいとの申し出からあったことから、当社および AFT 社は、ABS 社株式譲渡についての正式検討に入りました。当社は、BTG 社への ABS 社株式譲渡が、当社のコア領域に集中する経営計画の実現と、ABS 社の更なる長期的成長に合致すると判断し、契約締結にいたしました。

ABS 社は 2004 年に主にタイで生産した豚肉加工品の日本への輸出を目的として、当社、AFT 社及び BTG 社との 3 社合併で設立しました。ABS 社で生産される加熱済みの特性を活かした「三元豚のロースかつ」などの製品は外食産業を中心にユニークなポジションを獲得しており、広く認知されています。また、日本以外にタイ、香港等でも事業を展開しています。

当社は ABS 社との間で製造委託契約を別途締結し、これまでと同様、当社日本向け豚肉加工品の供給を続けます。

なお、本件による 2024 年 3 月期連結業績への影響は軽微であり、業績予想に織り込み済みです。

当社は、食と健康の課題解決に向けた新たな価値を提供し続けるとともに、生活者の皆さまに「感動」で「笑顔」をお届けし、世界中の Well being に貢献していきます。

<ABS 社概要>

- 会社名：味の素ベタグロ・スペシャリティフーズ株式会社
(Ajinomoto Betagro Specialty Foods Co., Ltd.)
- 新会社名：ベタグロ・スペシャリティフーズ株式会社（6月1日以降）
(Betagro Specialty Foods Co., Ltd.)
- 所在地：タイ国ロブリ県
- 従業員数：約 207 名（2024 年 2 月末現在）
- 事業内容：冷凍食品製造・販売
- 株主：BTG 社 49%、当社 34.33%、AFT 社 16.67%（本件株式譲渡前）
- 設立：2004 年 2 月

<BTG 社概要>

- (1) 社 名 : ベタグロパブリック株式会社
(Betagro Public Company Limited)
- (2) 所 在 地 : タイ国バンコク市
- (3) 事業内容 : アグリ・食品・ペット事業
- (4) 設 立 : 1967 年

<AFT 社概要>

- (1) 社 名 : タイ味の素冷凍食品株式会社
(AJINOMOTO FROZEN FOODS(THAILAND)CO., LTD.)
- (2) 所 在 地 : タイ国アユタヤ県
- (3) 従業員数 : 約 352 名 (2024 年 2 月末現在)
- (4) 事業内容 : 冷凍食品製造・販売
- (5) 設 立 : 1990 年